

韓国 建陽大学

[2019年8月～2019年11月分]

現代政策学部3年 鳴海美里

みなさん初めまして。私は韓国・論山にある建陽大学に2019年8月から留学しています。韓国には何度も行ったことはありましたが、ソウルや釜山の日本人が知っているようなところに行っていたので論山という場所は全く知らずに留学に来ました。韓国の真ん中にある周りに山しかない田舎です。論山の気候は埼玉県よりも寒く、とても乾燥していると感じます。日本と韓国は似ているので日本で例えると東北と同じような気温だと思います。



「授業について」

建陽大学は語学学校があるので外国人はそこに入ります。最初にクラス分けテストを受けて自分の実力と同じ人達と授業を受けます。アジア人と英語圏で別々にクラス分けをします。授業は毎週月曜日から金曜日9時半から1時半までです。教科書を買ってそれを使いながら授業を受けます。もちろん授業は全て韓国語です。私は韓国語の聞き取りは出来るので大丈夫ですが、日本人が難しい発音に苦戦しています。しかし、先生方が本当に優しく教えてくれるので授業が楽しいです。

「寮について」

私は建陽大学の寮で生活しています。2人部屋ですが、トイレとお風呂は隣の部屋と共有しているため、実質4人部屋です。私の部屋はカンボジア国籍の方と同じ部屋です。彼女は4年生なので生活リズムが違い、また文化の違いから喧嘩になることもあります。普段はお菓子をくれたり韓国語を教えてくれたりと優しい先輩です。寮のルールですが、毎日11時半には寮が締まります。月曜日から木曜日までは、11時半に点呼がありそれまでには帰らなければなりません。

「文化授業について」

私たちは、月に1-2度は外に出て論山や韓国の文化を体験します。今回のチュソク(旧正月)は『料理体験』や『ハンボク試着体験』をする予定だったのですが、A型肝炎を発症した学生がおり料理体験は中止となってしまいましたが、チュソクで食べる料理をみんなで食べました。また、10月9日はハングルの日でバッグ等を作ったりしました。『Hello!K』という公演を見ました。伝統的な音楽や最近有名なK-POPの公演も見ました。勉強も大切ですが、こういった息抜きとして文化授業があるのは楽しいです。必ず行事があると友達が増えるので毎月楽しみにしています。



ハングルの日での集合写真



Hello!K

「最後に」

私は、韓国の文化が好きでここに来たいと思い大学1年生の時から動いていました。ソウルや釜山の大学に行って遊ぶのも楽しいのでいいと思いますが、論山は日本人が少なく全く日本語が通じません。そのため、韓国語を勉強するにはいい環境だと思います。今、日韓問題で騒がれていますが基本的には大丈夫だと思います。周りの人たちが優しいので後2ヶ月ちょっとの留学生活ですが毎日、日本に帰りたくないと思ってしまうほど濃い時間を過ごしています。少しでも留学に興味がある人は行くべきだと思います。

残り少ない留学生活ですが韓国語を勉強するだけではなく、文化やかけがえのない友達と沢山の思い出を作っていきたいと思いました。